

月刊 MARUSHO

2019年 9月号

丸庄発、選りすぐりの情報をお届けします。



100円卓上カレンダーの誕生ものがたり

累計販売個数
17万8000個！
100円卓上カレンダーが
愛される理由とは累計販売個数
17万8000個
突破！

9月～12月は100円卓上カレンダーの製作時期です。

ノベルティとして配布されている方、逆にもらったことがある方など。一度は手にされた方もいるのではないのでしょうか？

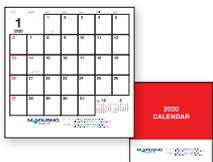
スマートフォンやSNSでのスケジュール管理でペーパーレスが進んでいる中でも、作業の見える化、論理的な思考の手助けとして、オフィスでは必要不可欠。今でも贈って喜ばれるアイテムです。今回は、そんなカレンダーの誕生秘話をご紹介します。

100円の名入れカレンダーの誕生

100円卓上カレンダーが登場したのは2012年。それまで、既製品に名入れをするか、お客様オリジナルのカレンダーをデザインから作成する方法しか行っていませんでした。既製品に名入れは、安価ではありますが、文字の色や書体に制約があり、デザイン性には欠けます。フルデザインとなるとオリジナル性は向上しても価格が高くなってしまいます。「もっとお客様オリジナル商品をお手軽に作って頂くことはできないか」・・・と一人の社員が立ち上がりました。

「既製品のデザインを自社で作ろう！お客様にはフォーマットの中から選んでもらうことで、デザイン費を抑えることができる。逆に名入れスペースを自由にデザインできるようにすればオリジナリティの高いものになる。価格はわかりやすく100円で収まるように設計しよう！」と考えたのです。その想いは他の社員にも伝わり、材料コストの見直し、デザイン案など毎晩、議論を重ねて完成したのでした。

A. スタンダードデザイン



- ▶ 書き込みスペースが広い
- ▶ 日祝日文字色分け

B. 六曜対応



- ▶ 六曜(六輝)表示
- ▶ 土日祝日色分け

C. 丸庄モデル



- ▶ 置く場所を選ばない
- ▶ 日祝日文字色分け

サイズ・形状にもこだわりがあります

カレンダーにはある程度決まったサイズがあります。卓上カレンダーも同じです。100円に価格を抑えるためにできるだけ取り都合の良く、予定も記入できて、デスクに置いたときに邪魔にならないサイズを検討した結果、現在の129×129mmに決定しました。さらにデスクに置いて、壁にもかけられる2Wayのケースを採用。従来の既製品に名前を刷込む方法から、毎回印刷する方法に変更しても、価格を抑えることができました。さりげなく宣伝もしつつ、贈って喜ばれるペーパーノベルティとして、使っていただいた方から、少しずつ人気が出て、今では定番商品となりました。



丸庄情報だけでなく、北千住・足立区のお得な情報をFacebookで掲載しています。

励みになりますので、皆さんの

いいね! をお待ちしております!





校正の豆知識

文章を印刷する前に間違いがないかどうか、確認・訂正することを「校正」といいます。デザインや原稿修正のやり取りをする際に何気なく指示を書いている方も多いのではないのでしょうか？今回は、改めて「校正」についてお話しします。

この記号なんて読む？ ～記号の名称～

校正では、誤字・脱字のチェックだけでなく、文章全体の体裁も整えます。例えば、カギカッコひとつにしても「」(カギ)『』(二重カギ)の使われ方が統一されていなければなりません。そうした体裁を整える際に、記号の名称が決まっていると、指示が出しやすくなります。その他にも、句読点や罫線なども、名称が決まっています。文章の体裁を整えることは、印刷業務を行う上でとても重要な仕事なのです。

ではここで、よく見かける記号の名称をいくつかまとめてご紹介します。

記号	名称	記号	名称
・	中黒(なかぐろ)	[]	亀甲
?	耳だれ/疑問符	「 」	カギ
!	雨だれ/感嘆符	『 』	二重カギ
!?	ダブルだれ	{ }	ブレース
()	バーレン	“ ”	クォーテーションマーク
【 】	すみ付バーレン	—	ダッシュ
《 》	ギユメ	～	波ダッシュ
< >	山バーレン	…	リーダー

そもそも、{←こういうものにもちゃんと名称があるのでね…。カッコのひとつみたいになってました。使うことはあっても、名称までは…。勉強になりました。

校正にもルールがあった!? ～校正記号「トル」～

校正には文字の修正、文字組の修正などをわかりやすくするために、JIS(日本工業規格)で規定されている「校正記号」があります。校正記号を使いこなすことで、校正の速度と精度を上げることができ、印刷業者に校正を依頼する場合もスムーズなやり取りができます。そこで今回は、よく使う校正記号をご紹介します。

その前に校正記号を使う際のルールですが、校正記号は、赤ボールペンで書きます。ただし、補助的な指示や赤色だけだと煩雑になる場合は、他の色を使うこともあります。一部の併用記号を除いて、修正指示は、原則カタカタで記入し、対象の文字や記号の上には書きません。引出線は、同じ行にある修正箇所の前後にくる文字や記号にかぶらないようにし、別の箇所の引出線と交差させないようにします。

代表的な例として、「トル」という記号があります。「トル」と記入すると、意味は「削除して空いたスペースを詰める」になります。「トルアキ」と記入すると、意味は「削除した文字部分はそのまま空きスペース」という意味になります。知っていると感じるのは大変ですが便利です。

まるメルでは、他の例もご紹介しています。気になる方は是非、バックナンバーでご確認ください。



まるメルのバックナンバーはこちら▶ [週刊marusho](#) バックナンバー

おかげさまで、累計販売個数
17万8000個を突破!

まるカタ Vol.8
P.67に掲載

100円卓上カレンダー

今年も始まりました!大好評のオリジナル100円卓上カレンダー
今ご注文ならば、カウントダウン早割でさらにお得です
特別価格なため数量限定、ご注文はお早めに!

相談できる印刷通販 まるイロで
早期にご注文 & 2019年9月30日までに
ご入稿いただくとポイント付与率アップ
9/1～9/30までのご注文 ポイント付与率 2倍

詳しいご質問・お問い合わせは弊社営業担当まで。

Tel. 03-3881-2131 (代)



100円卓上カレンダー

1セットあたり1,000個の場合：**¥100**

サイズ：129 × 129 mm
名入れスペース
表紙：W119 × H28mm
各月：W119 × H11mm
仕様：マットコート 135 kg /
表紙+12ヶ月分 / 片面カラー
OPP袋入
最少ロット：100個
最短納期：約2週間

※ご注文時期により納期が遅れる場合がございます。詳しくはお問い合わせ下さい。